

コニカミノルタ東京サイト日野

建物諸元

所在	日野市さくら町 1 番地
主用途	工場
敷地面積	149,077 m ²
延床面積	171,157 m ²
階数	7階
竣工年月	1963 年 3 月
事業者・所有者	コニカミノルタ株式会社
設計・運営者	コニカミノルタ株式会社
URL	http://www.konicaminolta.jp/

主な評価項目

I 一般管理事項

在籍組織一体となった省エネ協力体制のもと、CO₂ 削減対策を推進し、共に解決を図っている

II 建物、設備性能に関する事項

高効率なボイラー・熱源機器・照明器具・空調設備を積極的に導入している

III 運用に関する事項

蒸気ボイラー、熱源・冷却機器等の運転管理、空調、照明などの省エネ運用を実施している

事業所の概要

コニカミノルタ東京サイト日野は、「ヘルスケア事業」「印刷機・情報機器事業」「産業用材料・機器事業」などの事業領域で、新しい時代の、新しい価値の創造に挑戦しています。

主な事業活動

- 1.医療用・産業用機器、材料の開発・設計・製造
- 2.インクジェット用機器の開発・設計・製造
- 3.画像入出力技術・情報処理技術等に関連する技術開発

事業所における環境負荷低減の取組

コニカミノルタは、地球温暖化防止や資源循環、生物多様性の保全に向けて、2050 年をターゲットとする長期環境ビジョン「エコビジョン 2050」を策定しています。このビジョンの実現に向けたアクションプランとして、2016 年度をターゲットとする「中期環境計画 2016」を策定し、事業活動を通じて環境負荷を低減していくことにより、2016 年度には、製品ライフサイクルにおけるCO₂ 排出量を 40%削減(2005 年度比)することを目指しています。

また、生産拠点の環境活動を総合的に評価する制度として、2010 年から独自の「グリーンファクトリー認定制度」を運用しています。

この制度により、投入エネルギー・資源を最小限に抑え、コストダウンと環境負荷低減を実現する効率的な生産拠点の実現を目指しています。

1937 年に設立された東京サイト日野は、長い歴史の中で常に環境配慮を重視し、80 年代には民間企業としていち早くコジェネレーションシステムを導入するなど、その時代の最適技術を積極的に活用しています。

近年の例を挙げますと、高効率ボイラー・熱源機器・空調機器・照明機器など、高効率設備の導入を積極的に推進しています。また、デマンド管理を活用した 24 時間体制の集中管理システムを構築し、より確実なエネルギー管理を目指しています。さらに、社内 LAN を活用した全従業員へのエネルギーデータ開示等の見える化を進め、オフィス領域を含む全フロアの室温管理や こまめな消灯など、各職場での省エネ活動の推進に役立てています。

東京サイト日野は、その歴史を通じて受け継いできた高い環境意識の DNA を次の世代に伝えつつ、さらなる省エネ施策を展開していきます。



事業所外観写真



高効率小型貫流ボイラー



会議室フロア LED 照明

森永乳業株式会社 東京工場

建物諸元(2014年4月現在)

所在	葛飾区奥戸 1-29-1
主用途	工場
延床面積	33,973 m ²
階数	地上3階
竣工年月	1957年4月
事業者・所有者	森永乳業株式会社
URL	http://www.morinagamilk.co.jp

主な評価項目

I 一般管理事項

環境マネジメントシステムと連携し、月例のCO2削減推進会議の開催、省エネ講習会の開催など、CO2削減体制を強化した。

II 建物、設備性能に関する事項

ガスコージェネレーション設備の導入、高効率の蒸気ボイラやエアコンプレッサーの導入と台数制御、高効率熱源設備の導入、蓄熱システムの導入

III 運用に関する事項

コージェネレーションの運転の最適化、部分負荷時の蒸気ボイラの運転の適正化、蒸気ボイラの起動時間の適正化、洗浄便座暖房の夏季停止

事業所の概要

森永乳業(株)東京工場は、牛乳などの飲料、焼プリン、無菌充填豆腐などの製造工場であり、都心に近い立地条件から、物流拠点としての位置付けも担っています。

事業所における環境負荷低減の取組

森永乳業では、古くから環境対策に取り組んでおり、本事業所でもコージェネレーション設備、ボイラ、熱源設備など各種高効率設備の導入、環境マネジメントシステムによる省エネルギー、CO2削減活動を積極的に推進しています。

・ コージェネレーション設備

1,500kW ガスタービン×1台と550kW ガスエンジン×2台のコージェネレーション設備を導入し、使用電力の約6割、使用蒸気の約5割を工場内に供給しています

・ インバーター式エアコンプレッサー

高効率設備(160kW)を導入し、インバーターの負荷追従性を生かす事により、他のエアコンプレッサーの台数制御での起動待ち電力を削減しています。

・ LED照明・人感センサー導入

不要時の消灯強化、間引・分割照明の実施など。

・ 全員参加の取り組み

ISO14001、改善提案制度、コストエンジニアリングなどの活動の推進により、製品の製造過程におけるエネルギー使用とCO2排出量の削減に、全従業員が取り組んでいます。

事業所外観写真



ガスタービンコージェネレーション設備



ガスエンジンコージェネレーション設備

森永乳業株式会社 東京多摩工場

建物諸元(2015年11月現在)

所在	東大和市立野4-515
主用途	工場
敷地面積	123,515㎡
延床面積	73,255㎡
階数	地上6階
竣工年月	1965年12月
事業者・所有者	森永乳業株式会社
URL	http://www.morinagamilk.co.jp

主な評価項目

I 一般管理事項

CO2削減推進会議を毎月開催し、削減体制を強化。従来の環境マネジメントシステムと連携し、CO2削減対策を推進

II 建物、設備性能に関する事項

高効率ガスコージェネレーション2基導入、太陽光発電設置、燃効率率蒸気ボイラ・熱源機器導入、動力回収蒸気タービンエアコンプレッサ導入、氷蓄熱システム活用、熱源ポンプ等のINV化

III 運用に関する事項

エネルギー監視システムを活用したデータ分析・解析による設備運用の最適化

事業所の概要

森永乳業株式会社東京多摩工場は、同一敷地内に独立した3つの工場を有し、主に牛乳などの飲料、ヨーグルト、育児用粉乳を製造する森永乳業の主力生産拠点です。森永乳業は古くから環境対策に取り組んでおり、コージェネレーションシステムをはじめとする高効率機器の導入や、ISO14001システムによる省エネルギー・CO2削減活動を積極的に推進しています。

事業所における環境負荷低減の取組

・コージェネレーションシステムの導入

4, 100kWガスタービンと6, 030kWガスエンジンのコージェネレーションシステムを導入、使用電力における自家発電比率は約8割となっています。ガスエンジンはBOS(ブラックアウトスタート)機能を装備し、非常時には事業所単独での自立運転が可能です。

・エネルギー監視システムの構築

各設備をネットワークで結び、常時監視システムとエネルギーデータ収集システムを構築。リアルタイムの最適運用を図るとともに、データ解析による改善策の立案を行っています。

・高効率運用の実現

工場の操業形態に合わせ、特性の違う2基のコージェネレーションシステムと蒸気駆動・電気駆動の熱源機器の選択を組み合わせ、CO2排出量が最小となる最適運用をエネルギー監視システムの活用により実現しています。

・自然エネルギー、未利用エネルギーの活用

2003年、NEDO 共同研究事業として40kW太陽光発電システムを導入、現在も継続運用しています。未利用エネルギーの活用では356kW蒸気減圧動力回収エアコンプレッサを導入しています。

・全員参加の取組み

高効率機器の導入・運用のほか、食品工場の使命である安心・高品質・安全性を確保しつつ、空調温度の緩和や照明の間引き、提案制度の活用など全従業員が協力し、CO2排出量の低減に取り組んでいます。



事業所外観



ガスタービンCGS



ガスエンジンCGS



太陽光発電システム



エネルギー監視システム

日本電気株式会社 府中事業場

建物諸元(2015年3月現在)

所在	府中市日新町 1-10
主用途	工場
敷地面積	217,746㎡
延床面積	235,460㎡
階数	地上7階
竣工年月	1964年4月
事業者・所有者	日本電気株式会社
URL	http://www.nec.co.jp/eco/ja/
テナント数	19社(特定テナント3社)

主な評価項目

- I 一般管理事項**
環境推進・地球温暖化対策会議を定期開催し、各入居部門とCO2 排出状況の把握、削減施策を立案し計画的に遂行している。
- II 建物、設備性能に関する事項**
設備更新時期に併せて積極的に高効率機器を導入している。
- III 運用に関する事項**
照明・OA 機器は不要時電源 OFF や省エネモード設定、画面輝度調整を徹底、熱源・空調設備は定期的に清掃点検を実施、空調効率の向上に努めている。

事業所の概要

<NEC環境理念>

NECは環境と調和するテクノロジーと環境にやさしい生産の追求をとおして自然のいとなみを尊重し世界の人々が人間性を十分に発揮できる豊かな社会と環境の実現に貢献します。

<府中事業場環境経営>

NEC府中事業場では、人工衛星やデジタルTV送信機、クラウド構築サーバーの開発拠点として、環境に配慮した製品やソリューションの開発に注力すると共に、省エネルギーなどの環境負荷低減活動を推進しております。また、当事業場内で働く関係会社等を含めた全従業員の環境意識啓発にも努めております。



事業場 外観写真

<NEC府中事業場活動項目>

- 省エネ製品の導入
 - ・Hf高反射型 1 灯式照明器具Alline【下図①】
従来 FLR40W2 灯用器具と同等の明るさを Hf32W 1 灯用で実現
 - ・フリークーリング利用熱源(水冷チラー)【下図②】
フリークーリング(外気冷却)を利用した熱源機器の導入
 - ・エコクロス・ジャケット【下図③】
高断熱ホワイトガラスウール採用、特殊縫合技術でバルブにも装着
 - ・他には、高効率貫流ボイラ、揚水インバータポンプ等を更新導入
- 設備運用チェックにおける改善活動
 - ・エアコン室外機へのよはず設置やフィン洗浄による空調効率向上
 - ・マシン室空調設定温度の緩和(過冷却防止)
- 事業場従業員へ向けた省エネ意識啓発
 - ・省エネ講演会や見学会開催等による従業員の意識啓発

<p>①高反射型1灯用Hf照明器具Alline</p>  <p>Alline® フルライン 環境配慮型照明器具 高反射アルミ反射板+高効率インバータ</p>  <p>反射率93% アルミ反射板 約50%省エネ</p>	<p>②フリークーリング利用熱源(水冷チラー)</p>  <p>フリークーリング(外気冷却)を利用した省エネ 主にマシン室空調用として導入</p>	<p>③エコクロス・ジャケット</p>  <p>【装着前】 【装着後】</p>  <p>Max:130℃ Max:58℃</p>
---	--	---